

2. 指標設定

成果指標	指標名	一般廃棄物適正処理	目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—		—	適切な住環境を保全する必要があるため			
活動指標	指標	a	回収回数		b			c
	数値	目標	随時		目標			目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
一般廃棄物適正処理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
a 回収回数	回	47 回	44 回	44 回
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
市民の要望が多様になり、増加傾向に苦慮している
対応（改善点等）
市民の要望の整理及び迅速な処理を行う必要がある

5. 事業費・・・H 2 2～H 2 4（決算額）、H 2 5（予算現額）

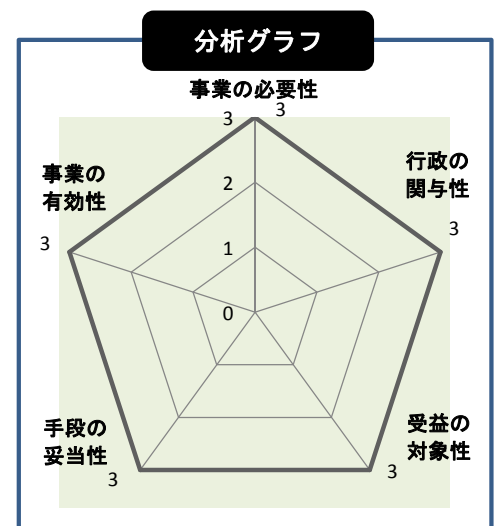
決 算 額（千円）		H22	H23	H24	H25
		235	88	89	119
うち経常経費		235	88	89	119
財源内訳	国 費				
	県 費				
	市 債				
	そ の 他			11	16
	一般財源	235	88	78	103
	うち経常	235	88	78	103
事業費に係る人件費		2,190	860	859	872
事業費に係る人役		0.50	0.20	0.20	0.20

6. H 2 6 年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
適正処理を推進するため

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	事業の必要性が高い
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により、市が実施主体であることが定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	広く市民に享受できている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	目的達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	期待したとおりの成果が上がっている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適正処理に努めること。